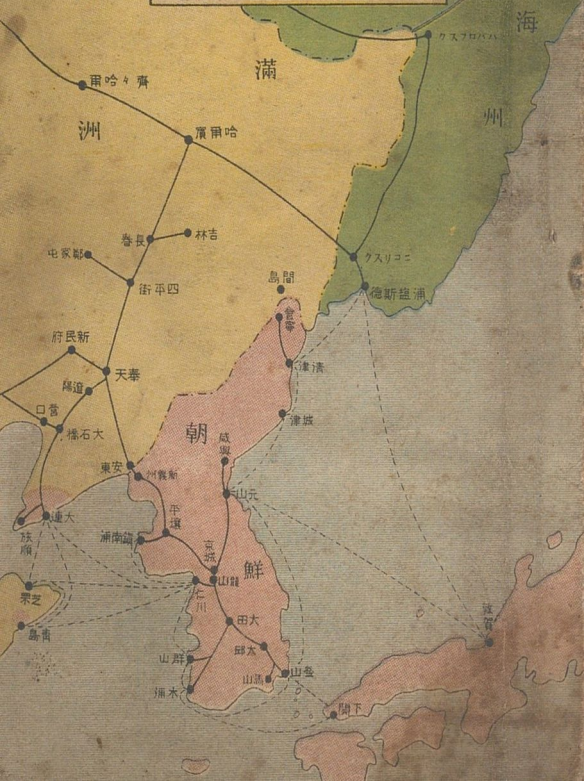


# 通 信 の 便

朝鮮總督府通信局



郵便局所で取扱ふ事務の概要を茲に掲げて御參考に供します詳細のことは最寄の郵便局に御問合せ下さい

本年は我が帝國の通信事業創始滿五十年に相當し紀念祝典を舉行する運に至りました、我が朝鮮に於ける通信機關は今や長足の發達を來しましたけれども猶施設上遺憾に思はる點も尠くありませぬ之等は着々改善を期したく思つて居ります、どうか皆さんに於かれても本書各部の冒頭に掲げました注意事項を御熟讀下さいまして益々此の機關を御善用あらむことを希望いたします

大正十年四月

朝鮮總督府遞信局

通信乃棗

目次

●通信官署業務取扱時間.....	一頁
●郵便	
內國郵便.....	二頁
外國郵便.....	一五頁
●電信	
內國電報.....	一二頁
外國電報.....	三三頁
●電話.....	三九頁
●爲替	
內國郵便爲替.....	四三頁
外國郵便爲替.....	四六頁
●貯金	
郵便貯金.....	四八頁
振替貯金.....	五三頁
●年金恩給.....	五九頁



# ●通信官署業務取扱時間

●郵便事務

自午後八時

別配達郵便、速達郵便及約束郵便は時間に拘らず扱ひます

●電信事務

自午後八時

至急電報及新聞電報は時間に拘らず扱ひます

●電話事務

自午後八時

至急通話、至急呼出、電話加入者相互の通話及自働電話に依る通話は時間に拘らず扱ひます

●爲替貯金  
●其他現金  
●受拂事務

九月十一日より	自午前八時三十分
十月三十一日迄	至午後四時
十一月一日より	自午前九時三十分
翌年二月末日迄	至午後四時
三月一日より	自午前九時
四月三十日迄	至午後四時
五月一日より	自午前八時
七月十日迄	至午後四時
七月十一日より	自午前八時
九月十日迄	至正午十二時

日曜日及一月二日は正午十二時迄扱ひます又祭日、祝日、一月一日及始政紀念日には扱ひませぬ

以上の取扱時間は特別の事情に依り必要あるときは之を延伸し又は休日でも扱ふことあります此の場合は其の旨を郵便局所前に掲示します

## 通信官署業務取扱時間



内 國 郵 便

● 内 國 郵 便

二

● 郵便物差出  
上御注意

● 郵便物受取  
上御注意

● 郵便物の表面は分り易く詳しく書き切手は表面の左肩へ貼つて下さい

● 包装は送達途中破れぬ様に充分堅固にして下さい

● 左の物品は郵便物として出すことは出来ませぬ

● (イ) 公安を妨害し又は風俗を壞亂すべき文書圖書其の他の物件

● (ロ) 爆發性、發火性、其の他郵便吏員に危害を加へ又は郵便物に損害を與ふべき物件

● (ハ) 内地、臺灣、樺太及支那宛郵便物に在つては通常又は小包郵便に依り當該地に輸

移入し得ない物品

● 小包郵便物には信書を入れることは出来ませぬ

● 住宅には必ず分り易い標札を掲げて下さい

● 書留、價格表記及小包郵便物などを受取られるときは郵便物に異狀がないか否かを検

めて下さい受取の後には異議の申立は出来ませぬ

● 受領證を要する郵便物を受取られるときは直に左の手續をして下さい

● (イ) 本人が受取られるときは配達證に調印すること

● (ロ) 代人が受取られるときは代人と肩書して配達證に記名調印すること

● (ハ) 官公署、會社、旅館其の他多人數居らるる所では其の受取らるべき資格を肩書し

て配達證に記名調印すること

● 萬一他人宛郵便物の誤配達を受けられたときは直に其の旨を附箋して最寄の郵便函に

投入せられるか又は郵便局所へ御戻し下さい



● 通常郵便物  
種類及料金

全部又は大部分印刷した無封の書状で  
官公署の事務に關し同一郵便區内に二  
箇月に一回以上繼續して差出し且一箇  
年の差出數一萬通を下らないもので約  
束郵便として特に承認したもの

十匁又は其の端數毎に……五 厘

第二種 郵便葉書

通常 葉書……一錢五厘  
往復 葉書……三 錢  
封緘 葉書……三 錢

第三種 郵便物

毎月一回以上刊行する定期刊行物で第  
三種郵便物として認可を受けたもの  
同上中盲人用點字の定期刊行物  
書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書、畫  
圖、商品見本及雛形、博物學上の標本  
同上中盲人用點字の書籍、印刷物及業  
務用書類

二十匁又は其の端數毎に……五 厘  
四十匁又は其の端數毎に……五 厘  
三十匁又は其の端數毎に……二 錢  
五十匁又は其の端數毎に……二 錢

第四種 廣告郵便物

百通又は其の端數毎に……五 錢  
の端數毎に……十二 錢  
三千一通分 同一郵便區外……十 錢  
からは百通 同一郵便區内……四 錢  
又は其の端 同一郵便區外……十 錢  
數毎に……



小包郵便料  
附税金通知  
料及税付小  
包郵便物留  
置期間

●書留郵便

內國郵便

第三種郵便物でない印刷物で毎月一回以上繼續刊行するものを約束郵便と爲し且郵便料低減の承認を受けたもの

三十又又は其の端數毎に……一

錢

第五種 農

產物

種

五十匁又は其の端數毎に……  
三十匁又は其の端數毎に……

錢 錢

一 朝鮮內相互間

同一郵便區市内

.....(重量に拘らす)

二十錢

同區外郵

[illegible]

二 朝鮮と内地、臺灣、樺太及在支那帝國郵便局區内又は關東廳管内との間

1

[illegible]

税金通知請求料

郵便物差出の陽請求  
郵便物差出の後請求：

七四

錢錢

稅付小包郵便物留置期間

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100  
101  
102  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178  
179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200  
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211  
212  
213  
214  
215  
216  
217  
218  
219  
220  
221  
222  
223  
224  
225  
226  
227  
228  
229  
230  
231  
232  
233  
234  
235  
236  
237  
238  
239  
240  
241  
242  
243  
244  
245  
246  
247  
248  
249  
250  
251  
252  
253  
254  
255  
256  
257  
258  
259  
260  
261  
262  
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
272  
273  
274  
275  
276  
277  
278  
279  
280  
281  
282  
283  
284  
285  
286  
287  
288  
289  
290  
291  
292  
293  
294  
295  
296  
297  
298  
299  
300  
301  
302  
303  
304  
305  
306  
307  
308  
309  
310  
311  
312  
313  
314  
315  
316  
317  
318  
319  
320  
321  
322  
323  
324  
325  
326  
327  
328  
329  
330  
331  
332  
333  
334  
335  
336  
337  
338  
339  
340  
341  
342  
343  
344  
345  
346  
347  
348  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359  
360  
361  
362  
363  
364  
365  
366  
367  
368  
369  
370  
371  
372  
373  
374  
375  
376  
377  
378  
379  
380  
381  
382  
383  
384  
385  
386  
387  
388  
389  
390  
391  
392  
393  
394  
395  
396  
397  
398  
399  
400  
401  
402  
403  
404  
405  
406  
407  
408  
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450  
451  
452  
453  
454  
455  
456  
457  
458  
459  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
468  
469  
470  
471  
472  
473  
474  
475  
476  
477  
478  
479  
480  
481  
482  
483  
484  
485  
486  
487  
488  
489  
490  
491  
492  
493  
494  
495  
496  
497  
498  
499  
500  
501  
502  
503  
504  
505  
506  
507  
508  
509  
510  
511  
512  
513  
514  
515  
516  
517  
518  
519  
520  
521  
522  
523  
524  
525  
526  
527  
528  
529  
530  
531  
532  
533  
534  
535  
536  
537  
538  
539  
540  
541  
542  
543  
544  
545  
546  
547  
548  
549  
550  
551  
552  
553  
554  
555  
556  
557  
558  
559  
560  
561  
562  
563  
564  
565  
566  
567  
568  
569  
570  
571  
572  
573  
574  
575  
576  
577  
578  
579  
580  
581  
582  
583  
584  
585  
586  
587  
588  
589  
590  
591  
592  
593  
594  
595  
596  
597  
598  
599  
600  
601  
602  
603  
604  
605  
606  
607  
608  
609  
610  
611  
612  
613  
614  
615  
616  
617  
618  
619  
620  
621  
622  
623  
624  
625  
626  
627  
628  
629  
630  
631  
632  
633  
634  
635  
636  
637  
638  
639  
640  
641  
642  
643  
644  
645  
646  
647  
648  
649  
650  
651  
652  
653  
654  
655  
656  
657  
658  
659  
660  
661  
662  
663  
664  
665  
666  
667  
668  
669  
670  
671  
672  
673  
674  
675  
676  
677  
678  
679  
680  
681  
682  
683  
684  
685  
686  
687  
688  
689  
690  
691  
692  
693  
694  
695  
696  
697  
698  
699  
700  
701  
702  
703  
704  
705  
706  
707  
708  
709  
710  
711  
712  
713  
714  
715  
716  
717  
718  
719  
720  
721  
722  
723  
724  
725  
726  
727  
728  
729  
730  
731  
732  
733  
734  
735  
736  
737  
738  
739  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
750  
751  
752  
753  
754  
755  
756  
757  
758  
759  
760  
761  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
770  
771  
772  
773  
774  
775  
776  
777  
778  
779  
780  
781  
782  
783  
784  
785  
786  
787  
788  
789  
790  
791  
792  
793  
794  
795  
796  
797  
798  
799  
800  
801  
802  
803  
804  
805  
806  
807  
808  
809  
810  
811  
812  
813  
814  
815  
816  
817  
818  
819  
820  
821  
822  
823  
824  
825  
826  
827  
828  
829  
830  
831  
832  
833  
834  
835  
836  
837  
838  
839  
840

目

金銀、寶石、珠玉、有價證券、其の他の貴重品は必ず價格表記又は書留としてお出しなさい。其の他一般郵便物は書留とすることが出来ます。▲郵便物に表記すべき文字「書留」

通常郵便物書留料

[illegible]

# 内國郵便

六

通貨は必ず價格表記としてお出しなさい、其の他密封した郵便物は價格表記と爲すことが出來ます▲郵便物に表記すべき文字通貨は「通貨價格表記何程」其の他の物件は「品名價格表記何程」

## ●價格表記

### 價格表記料

通常郵便		小包郵便	
通貨	通貨以外	通貨	通貨以外
貨	貨	貨	貨
以上十圓迄	以上十圓迄	以上十圓迄	以上十圓迄
七	十二	十	五
錢	錢	錢	錢

### 表記金額制限

差出人の指定する郵便局所に郵便物を留置き受取人の出頭を待つて交付するものです

▲郵便物に表記すべき文字「留置」又は「何局所留置」、到着局所から受取人へ留置いてある旨の通知を要するものは「留置通知」

留置通知を要するものは留置通知料.....三 錢

留置期間.....三十日（交通不便の地に宛てたものは特に延長することがあり

ます）

## ●留置郵便

●引受時刻  
證明郵便

通常郵便物の差出時刻を確知して置く必要があるときは之を書留とし尙引受時刻證明と爲せば郵便局所は引受時刻を記入した郵便物受領證を差出人に交付し尙配達を了つたときは其の旨を差出人に通知します▲郵便物に表記すべき文字「引受時刻證明」

十五錢

●別配達郵便

別配達料

陸上二里以内……………三十錢  
(以上一里迄毎に……………二十五錢)

船……………實費額

●配達證明郵便

別配達料不明の場合は三十錢以上を納付するときは尙別配達として引受け其の不足額は受取人から徴収します受取人が之を納付せぬときは差出人から之を徴収します、艀船料は其の實費額を受取人から徴収します受取人が之を納付せぬときは差出人から徴収します差出人が郵便物配達の證を得たいときには配達證明としてお出しなさい▲配達證明と爲すべきものは書留通常郵便物、小包郵便物又は價格表記の郵便物に限りす▲配達を了つたときは該證明書を差出人に送ります▲郵便物に表記すべき文字「配達證明」▲差出人は郵便物差出後一年以内に該郵便物の受領證を提出し之が配達證明を引受郵便局所に



内 國 郵 便

八

請求することが出来ます

配達證明料

郵便物差出の際請求するもの……………三  
郵便物差出後請求するもの……………六

錢錢

● 内 容 證 明 便

封緘した書留通常郵便物で其の内容が日本字、朝鮮字又は漢字を以て明瞭に記載した文書（亞刺比亞數字又は簡單な記號を混記することが出来ます）なるときは内容證明と爲すことが出来ます但し他の物件を封入することは出来ませぬ▲二箇以上の内容證明郵便物で其の内容文書が名宛人宿所氏名のみを異にするものは其の名宛人宿所氏名が各封皮記載のものと一致する場合に限り之を同文のものとして差出すことが出来ます▲差出後二年以内に内容検査の證明又は認證謄本の閱覽を請求することが出来ます▲郵便物に表記すべき文字「内容證明」又は「同文内容證明」

内容證明料

一通の謄本一枚のもの……………十  
二枚以上のものは一枚を増す毎に……………四錢を加ふ  
同時に二箇以上同文のものを差出すときは内一箇を除き他は一箇に付前記料金の半額

内容證明郵便物差出後内容検査證明請求料

同文でない内容證明料と同割合に依る料金の半額

認證謄本の閱覽請求料

五 錢

●代金引換郵便

代金引換郵便物は代金と引換に之を受取人に交付し其の代金は爲替で差出人に送ります  
 ▲代金引換と爲し得るものは書留又は價格表記の通常及小包郵便物に限ります▲差出人が振替貯金加入者であるときは引換代金を其の振替口座に拂込方を請求することが出来ます▲郵便物に表記すべき文字は其の取扱區別に應じ「代金引換金何程」、「居宅代金引換何程」、「何番口座拂込」、「居宅拂」、「蠶種留置三日」

代金引換料……………五 錢

居宅引換料……………五 錢

引換金額制限……………(錢位未満の端數を付けることは出来ませぬ)……………千 圓

代金引換郵便物留置期間……………十日…蠶種を内容とするもので差出人が豫め請求したものは三日

は三日

●集金郵便

集金郵便は其の委託の證書又は證券に依り之と引換に支拂人から證書又は證券面の金額を取立て爲替で委託者に送ります▲集金郵便は朝鮮内で取立てるものは郵便區市内宛に限り但し郵便局所に留置き支拂人の出頭を待つて取立てるものは郵便區市外宛のものでも扱ひます▲委託者は其の取立金を自己の振替口座に拂込方の請求が出来ます

集金郵便委託料……………

證書 現金受領證……………六 錢  
 證券 {無記名の公債券、社債券又は其の利札……………十五 錢  
 貨物引換證、船荷證券又は之に準ずべきもの……………十五 錢

集金郵便留置通知料……………三

錢

取立金額制限……………證書に在つては五十圓、證券に在つては千圓とし錢位未満の端數を付けることは出來ませぬ

集金郵便取立期間……………十

日

京城、釜山及仁川各郵便局に差出し各其の同一郵便區内に配達すべき全部又は大部分を印刷した同文の有封及無封書狀又は同内容の第三種及第四種郵便物で同時に百箇以上差出すときは左の料金に依り「市内特別」と表記し市内特別取扱と爲すことが出來ます

一、有封同文書狀……………一箇に付重量四匁迄一錢五厘四匁以上は四匁迄毎に一錢を加へます

二、無封同文書狀……………一箇に付重量十匁迄一錢五厘十匁以上は十匁迄毎に一錢を加へます

重量二十匁迄四厘二十匁以上は二十匁迄毎に三厘を加へます

同時に三千一個以上を差出すときは三千一個分からは重量二十匁迄毎に三厘を加へます

重量三十匁迄六厘三十匁以上は三十匁迄毎に五厘を加へます

●市内特別取扱郵便

三、第三種郵便物……………一箇に付

同時に三千一個以上を差出すときは三千一個分からは重量二十匁迄毎に三厘を加へます

四、第四種郵便物……………一箇に付

同時に三千一個以上を差出すときは三千一個分からは重量三十匁迄毎に五厘を加へます



第三種及第四種市内特別郵便で別に定めた原簿配達の方法に依るものは前項の外百箇迄五錢百一箇以上は十箇迄毎に五厘を加へて徴收します

### ●速達郵便

左の地域に發着する料金完納の郵便物は「速達郵便」と朱記し速達郵便と爲すことが出来ます但し小包郵便物の重量は四百匁限りです速達郵便物差出人は電話其の他適宜の方法に依つて豫め其の郵便物の種類、數量、引渡時刻等を其の集配事務所轄の郵便局に通告し其の居所で之が引受方を請求することが出来ます

一、京城、光化門、南大門、西大門各郵便局區内及其の相互間……………十錢

一、龍山郵便局區内相互間……………十錢

一、京城、光化門、南大門、西大門各郵便局區内と龍山郵便局區内相互間……………十五錢

一、速達郵便物居宅引受取扱料……………六錢

### ●約束郵便

約束郵便として差出し得るは定期刊行物、書籍、印刷物及郵便規則第十五條の二に依る無封書狀で差出の際郵便切手を貼らず期間を定めて其の料金を後納するものであります

約束郵便の取扱を受けやうとするときは規定の方法に依り申込書を提出し承認をお受けなさい▲約束郵便物は規定の印章を押捺して郵送票を添へ所定の郵便官署へお出しなさい

内國郵便

二二

●切手別便

道廳府廳所在地に於ける郵便局、羅南、鏡城及大田郵便局へ同一内容の普通通常郵便物を同時に百箇以上お出しになるときは切手を一々其の郵便に貼らずに別に納めることが出來ます

●廣告郵便

廣告、引札等受取人を指定しない各種の印刷物は廣告郵便としてお出しになれば差出人指定の郵便局所で適宜の方法で配付いたします（廣告郵便料金は通常郵便物料金の項参照）

▲廣告郵便物は配達を要する郵便官署毎に把束し請求書に料金相當の郵便切手を添へ之と共に郵便局所にお出しなさい ▲郵便物に表記すべき文字「廣告郵便」

郵便私書函を使用しやうとせられるときは當該郵便局所の許可をお受けなさい ▲郵便私書函使用者に宛てた郵便物は總て私書函に配付します

●郵便私書函

郵便私書函（仁川、元山、平壤、木浦、群山、清津、馬山）  
使用料（鎮南浦、新義州及大邱郵便局）  
六箇月分……三圓  
其の他の郵便官署……六箇月分……一圓五十錢

●閉囊配達

普通通常郵便物は之を囊に入れ施錠のまま配達を受けることが出來ます  
閉囊配達料……一箇年……四圓

●訴訟書類送達料

訴訟書類送達料

……(郵便料及書留料の外)……

五 錢

郵便物差立前なるとき(但差立準備前の取戻請求なるときは無料)

五 錢

郵便に依るもの

八 錢

郵便物の取戻、郵便物の名宛變更又は代金引換

郵便物の發着區間

代金引換又は集金郵便の取消

郵便物の取戻、郵便物の名宛變更又は代金引換の金額變更

郵便物差立後なるとき

五十 錢 八十 錢

●郵便物名宛變更及取戻料、請求料、代金引換郵便の取消及金

電信に依るもの

和文電報に依るもの

朝鮮内相互間、朝鮮と關東廳管内及芝罘郵便局區内との間、朝鮮と内地、臺灣及樺太との間、朝鮮と上海郵便局區内との間

六十 錢 九十 錢

郵便物の名宛地宛和文私報に要する料金實費額

欧文電報に依るもの

朝鮮と在支那帝國郵便官署區内との間

郵便物の名宛地宛欧文私報に要する料金實費額



●年賀郵便特別取扱

毎年十二月十五日から同二十九日まで年賀郵便の特別取扱をいたします▲特別取扱年賀郵便は料金完納の内國普通通常郵便物に限ります但し切手別納郵便物は差支ありません▲特別取扱年賀郵便は一月元旦に配達します▲期間の迫らぬ内に可成早くお出し下さい遅れると元旦の配達に間に合はぬことがあります▲此の方法は差出人は郵便物の速達を得られ郵便局所では一時に郵便物の輻輳を避け得られる兩得の便法であります  
書留通常郵便物亡失のときは……………一個に付……………十圓

小包郵便物の損害賠償額

亡失のときは重量二百匁迄は二圓、二百匁以上は二百匁又は其の端數を超過する毎に一圓を加へます  
毀損のときは總重量に對する減重量の割合に依り重量二百匁迄は一圓以内二百匁以上は二百匁又は其の端數を超過する毎に五十錢以内を加へます

●損害賠償

價格表記郵便物の損害賠償額

全部亡失のときは表記金額の全額  
一部亡失又は毀損のときは其の表記金額と殘存價格との差額

集金郵便に依る證券の亡失又は失効のときは其の實損額但し取立金額を超過することは出来ませぬ

代金引換郵便物の取立金の取立を爲さないで之を交付したときは其の實損額賠償請求期間……………郵便物差出の日より……………一箇年

# ●外國郵便

●郵便物の表面はなるべく歐文で分り易く詳しく書き切手は表紙右肩へお貼り下さい  
 ●包装は極めて堅固に又米國宛小包は封緘せず容易に検査の出来る様にしてお出し下  
 さい  
 ●左の物品は郵便物として出すことは出来ませぬ  
 (イ)内國郵便物として出すことの出来る物品(二頁参照)  
 (ロ)關稅其の他の法令に依り輸出入を禁する物品  
 (三)名宛國に於て輸入又は流布を禁する物品

●郵便物差出  
 上御注意

## 通常郵便

種類	長	幅	厚	重量
書狀	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
業書	サニチメートル 十四釐(約四寸六分) (但し十釐(約三寸三分)を下ることは出来ませぬ)	九釐(約二寸九分) (但し七釐(約二寸三分)を下ることは出来ませぬ)		
印刷物及業務用書類	四十五釐(約一尺四寸八分) (容物體のものは長七十五釐(約二尺四寸七分)を以て制限としませぬ)	四十五釐(約一尺四寸八分) (約二尺四寸七分)		キログラム 二 三十三 分
商品見本	三十釐(約九寸九分) (容物體のものは長三十釐(約九寸九分)を以て制限としませぬ)	二十釐(約六寸六分) (約三寸三分)		グラム 三百五十 三 分

郵便物寸尺  
重量の制限

價格表記  
書狀及箱物

小包郵便

書狀	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
箱物	三十糎 (約九寸九分)	十糎 (約二寸三分)	十糎 (約三寸三分)	一匁 (約二百六十六分六分)
種別	聯合小包及墨西哥との條約に依る小包	加那太との約定に依る小包	英國、香港、米國、濠洲又は海峽殖民地との約定に依る小包	支那と交換する小包
寸尺	各面の寸尺六十糎(約一尺九寸八分)容積二十五立方デシメートル(約一立方尺)但し厚各二十糎(約六寸六分)を超過しないものは長一メートル(約三尺三寸)まで差支ありなせぬ	長二尺並幅及厚各一尺	長三尺五寸並長及横周を合して六尺	各面の寸尺二尺(但し幅、厚各六寸五分をに過ぎないものは長三尺三寸)まで差支ありなせぬ)又鐵道又は汽船の通せぬ各地宛のものに限り容積一立方尺
容積				
重量	一貫三百三十三匁 (五匁)	一貫三百二十匁	一貫三百二十匁	一貫五百匁 鐵道又は汽船の通せぬ各地宛は八百匁迄





外國郵便

一八

● 價格表記書  
● 狀及箱物の  
● 料金

● 到達  
● 證

主なる名宛國名		最低の郵便料		價格表記料	價格表記金
		書	狀	箱物	額の最高限
獨逸		二十瓦 (約五分三分)迄	以上二十瓦(約五 分三分)毎に	一箱(約二百六十 六分六分)迄	三百法若は其 の端數毎に
白義耳、端西、伊太利		二〇錢	六錢	一・六〇 一・〇〇 〇・八〇	10,000 法
佛蘭西、埃及					
海峽殖民地、大不列顛、 丁抹、露西亞、西班牙、					
英領印度、香港、錫蘭					3,000

郵便聯合國及郵便聯合外諸國宛書留又は  
價額表記通常郵便物に對するもの……………郵便物一箇毎に……………五  
特殊約定國宛書留通常郵便物に對するもの……………郵便物一箇毎に……………三  
支那と交換する小包郵便物に對するもの……………郵便物一箇毎に……………三  
其の他の小包郵便物に對するもの……………郵便物一箇毎に……………五

錢錢錢錢

● 踪跡取調料

郵便聯合國及郵便聯合外諸國宛書留 及價格表記通常郵便物の踪跡取調料	郵便物一箇に付	五錢
特殊約定國宛書留通常郵便物の踪跡取調料	郵便物一箇に付	三錢
支那と交換する小包郵便物		三錢
其の他の郵便物		五錢

普通書留及價格表記通常郵便物……………十二錢

小包郵便物……………二十錢

外國來別配達郵便物に付ては名宛人から左の料金を徴收します

● 別配達料

通常郵便物  
配達局から陸上二里を超え三里を超えないとき……………四十三錢  
三里を超えたるときは……………二十五錢  
一里迄毎に……………別配達料の實費額

解船に依る場合は……………別配達料の實費額

小包郵便物  
配達局から陸上二里を超え三里を超えないとき……………三十五錢  
三里を超えたるとき……………二十五錢  
一里迄毎に……………別配達料の實費額

解船に依る場合は……………別配達料の實費額

● 國際返信 價格……………一枚に付……………十二錢  
切手 券 名宛國で我十錢に相當する郵便切手に引換へることが出來ます

外國郵便



外國郵便

## 110

小包郵便料

主なる名宛	線路	小包各箇に對する郵便料	價格表記 制限額	代金引換制限額
國名	聯合小包	特別約定に依る小包	價格表記 又其の端數法	價格表記 又其の端數法
大不列顛及愛蘭(蘇士線)	直接	二百六十六匁一貫三百三十匁(五匁迄)	三〇・〇〇	〇・一〇
亞米利加直接	直接	三百六十匁一貫四百十匁一貫三百二十匁(十二匁迄)	三〇・〇〇	〇・一〇
合衆國直接	直接	百二十匁又は其の端數毎に(一貫三百二十匁迄)	〇・二〇	—
(布哇、比律賓其他米國屬地を含む)	直接	二百匁迄 四百匁迄 六百匁迄 〇・四五 〇・五五 〇・六五 九百匁迄 一貫二百匁迄 一貫五百匁迄 〇・八〇 一・〇〇 一・二〇 <small>(鐵道及汽船の運賃を算入し、 各地の八百匁を超ゆることを得ず)</small>	五〇〇 十匁迄二十匁以上十匁を増す毎に	〇・一〇
(帝國郵便官署區内を除く)	那直接	—	—	—
香港直接	港直接	—	〇・五〇 〇・九〇 一・一〇	—
加那太直接	太直接	—	〇・六〇 一・〇〇 一・四〇	—
海峽殖民地直接	地直接	—	〇・六〇 一・〇〇 一・四〇	—
墨西哥直接	哥直接	—	百六十六匁迄 一貫三百三十匁迄 一・一〇	—



内國電報

●内國電報

●電報發信上  
御注意

●電報受信上  
御注意

●電報の文字は正しく殊に數字は大きくお書き下さい書き方が悪いと誤謬の原因となります

●電文中に濁點又は半濁點のある文字の次の欄はなるべく空欄として電報字數を數へ易いようにして下さい

●電報を郵便で差出されるときは其の封筒の表面に「通信事務、電報在中」と書いて最寄の電信取扱局所へ宛てらるれば其の普通郵便料は無料です

●返信料前納電報、局待電報、別使及解船配達電報は其の配達を受けられた時から五分時以内ならば其の配達人に託して電報を出すことが出来ます

●萬一他人宛電報の誤配達を受けられた時は直に其の旨を附箋して配達局所へ御戻し下さい

●返信料前納證書は發行の日から三十日以内は何れの電報に使用されても差支ありません又何れの電信局所へも差出すことが出来ます

種別	和文		歐文	
	基本	累加	基本	累加
	(十五字以内) 一名電料五 錢を含む	(五字以内) を増す毎 に	(七字以内) 一名電料五 錢を含む	(二字以内) を増す毎 に
	基本	累加	基本	累加
	(五語以内)	(一語を増す毎に)		



●通常電報  
料金報

同 一 市 内	私官	報報	十五錢	三錢	十五錢	三錢	十五錢	三錢
朝鮮内 <small>(同一市内を除く)</small>	相互間	官報 私報	三十錢	五錢	三十錢	五錢	三十錢	五錢
朝鮮、内地 <small>(小笠原島を除く)</small>	官報	三十錢	五錢	—	—	三十錢	五錢	
小笠原島、臺灣及樺太相互間	私報	四十錢	五錢	—	—	四十五錢	五錢	
前 各 號 以 外	私官報	三十錢	五錢	—	—	三十錢	五錢	

和文電報及諺文電報に在つては一名宛毎に五錢を課します▲諺文電報又は諺文挿入の和文電報は朝鮮内發著のものに限ります▲同一市内とは別に告示の地域を指稱し主として電信局所の直配達区内一圓の地です

新聞紙に掲載の目的を以て豫め逡信局長の認可を受けた新聞社又は通信社に宛た電報は新聞電報として差出すことが出來ます

本電報は電報取扱時間外と雖之を取扱ひます▲發信の都度新聞電報發信證票の呈示を要

内國電報

二四

●新聞電報

します▲受信人は發信證票に記載のものに限ります▲電話に依る電報託送及至急、返信料前納、照校、受信、追尾、再送、外國郵送、停車場揭示の取扱は改しませぬ▲廣告私信の事項は記載を許しませぬ

新聞電報料  
和文五十字以内毎に

朝鮮内相互間……………	〔通常料〕二十五錢 <small>（一名宛料五錢を含む）</small>
朝鮮、滿洲、支那芝罘相互間……………	〔通常料〕十五錢 <small>（同上）</small>
朝鮮、内地、臺灣樺太相互間……………	〔通常料〕二十五錢 <small>（同上）</small>
	〔通常料〕十五錢 <small>（同上）</small>
	〔通常料〕三十五錢 <small>（同上）</small>
	〔通常料〕二十錢 <small>（同上）</small>

官報又  
私報

一、海岸局所料金

和文	通常料	十五字以内……………二十五錢 <small>（一名宛料五錢を含む）</small>
	同文料	五字以内を増す毎に……………五錢
欧文	通常料	五語以内……………二十五錢 <small>（一名宛料五錢を含む）</small>
	同文料	一語を増す毎に……………五錢

無線電報料

二、船舶局所料金……………同

# ●無線電報

## 新聞報

一、海岸局所料金……………

二、船舶局所料金……………

通常料  
同文料

五十字以内毎に……………二十五錢  
原信の字數に相當する料金の  
半額  
(一名電料五錢を含む)  
(上記の外一名電料)  
(毎に五錢を附課す)

無線電報は和文は「ナイ」歐文は「RA」の略符號又船舶局所の中繼に依り傳送する無線電報は和文は「ナラ」歐文は「RS」の略符號を以て指定しなさい  
上記の料金は海岸局所又は船舶局所に於て無線電線に依る取扱を爲す毎に課します又陸上線傳送を要するものは其の一般電報料を附課します

## 特殊取扱及電報指定事項

(指定事項は和文及諺文電報は片假名)  
(歐文電報は羅馬字で書いて下さい)

普通の電報よりも早く届ける必要があるとき又は電報取扱時間外に發信せられるときは至急電報としてお出しなさい

## ●至急電報

至急電報料……………

官報は通常電報料の二倍  
私報は通常電報料の三倍

指定略符號

至 急

ウナ

UR

至急親展

ウニ

UC

## 内 國 電 報



● 返信料前納電報

返信の電報料を豫め發信人の方で拂ひたいときは返信料前納電報としてお出しなさい

指定略符號

返信料前納	ナツ	RP
返信至急	ナウ	RD
返信照校	ナム	RT

返信料前納證書使用期間……………發行の日から三十日

電文の間違なきを確められるには照校電報としてお出しなさい

● 照校電報

照校料

……………和文及諺文電報……………通常電報料の四分の一  
……………一名宛毎に五錢附課

指定略符號

照 校	▲ム	TC
-----	----	----

發信人の方で電報の配達日時を知りたいときは受信電報としてお出しなさい▲此の電報は汽車中に在る者に宛てゐることは出来ませぬ

● 受信電報

電報に依り報知する受信報知料……………

……………原信官報なるときは官報の最低通常料金  
……………原信私報なるときは私報の最低通常料金

郵便に依り報知する受信報知料……………三 錢

指定略符號

電報受信報知	シニ	PC
郵便受信報知	シッ	PP

## ● 追尾電報

旅行中の人か又は居所の一定せぬ人に送る電報を其の行先を追うて届けるには追尾電報としてお出しなさい

追尾すべき受信人の居所は頼信紙に逐次記載し又は全く記載しなくても差支ありません  
 ▲逐書した受信人居所は之を各別の名宛と看做します▲左の電報は追尾電報と爲すことは出来ませぬ(イ)別使料又は解船料の電報報知を要する電報(ロ)同郵便報知を要する電報(ハ)返信料前納電報(ニ)受信電報(ホ)同文電報(ヘ)外國郵送電報(ト)汽車中にある者から發する電報

追尾料……………追尾一回毎に……………新に電報を差出したものとしての相當料金

指定略符號 追 尾 ナラ HS

受信人が轉居不在の場合には其の受信人又は肩書の家の人其の電報を受信人の行先へ再送の請求が出来ます▲再送電報配達不能の場合には再送請求者から再送電報料を追徴します

## ● 再送電報

再送請求者は其の再送すべき電報に記載した指定事項の削除を請求し又は追尾電報と爲すことの出来ない指定事項の外必要な指定事項の記入を請求することが出来ます▲再送請求の期間は著信の時から七十二時間以内です

再送料……………再送一回毎に……………新に電報を差出したものとしての相當料金  
 指定略符號 再 送 ナラ RE

同一市内又は著信局所の同じ土地に居住する數人に宛て同時に同文の電報(十通以内)を發するときは同文電報として出すことが出來ます▲同文連名は同文電報で其の各通に各受信人名を連記して配達するものです

●同文電報

同文料

.....電報取扱時間外に差出す至急電報.....  
 {和文及諺文 十五錢(一名報料五錢) 十五錢(錢を合算) 十錢附課

指定略符號

同文 同文連名  
 △≡ TMI  
 ≡イ MA

●停車場  
 揚示電報

別に告示する鐵道停車場内に自己の差出した電報の揚示を請求することが出來ます▲著信局所では指定停車場内に之を掲示し六時間以上を経過した後之を抹消し掲示を以て配達と看做します▲返信料前納電報、受信電報は停車場掲示と爲すこと出來ませぬ

指定略符號

停車場掲示  
 △ツ TTP

●局待電報

發信人が發信局所に居つて其の電報の返信を待つことを受信人に知らしめるには局待電報としてお出しなさい

指定略符號

局待 ヤ△ WTI

電信局所の電報直配達區域外に宛てた電報で別使を以て配達を要するものは別使配達電報としてお出しなさい▲電報直配達區域外に居住するものは電信局所に請求して自己に



●別使配達電報

宛てた前記の指定のない電報の別使配達を請求することが出来ます之を受けるときは其の配達料を納めねばなりません

別使配達料

著信局所から { 二里以内 ..... 三十銭  
以上一里以内を増す毎に ..... 二十五銭

島嶼に宛てた別使配達は里程に拘らず三十銭配達實費が之に超過したときは其の實費額在滿洲帝國郵便局區内宛は里程に拘らず五十銭

指定略符號

別使配達

ハッ X P

●船配達電報

艦船に宛てた電報で別使を以て配達を要するものは船配達電報としてお出しなさい

船配達料

在滿洲帝國郵便局區内宛は八十銭 (大連に限り) 芝罘帝國郵便局區内は四十銭

船配達の實費發信人の納付した額を超過するときは其の不足額を受信人から徴収します

指定略符號

船配達

ハホ BD

受信人が追納すべき別使料又は船配料を發信人の方で納付しやうとするときは電報又は郵便に依り其の料額の報知を受けて納付することが出来ます

# 内國電報

110

別使料又は船料報知料  
電報に依るもの……………原信官報なるときは官報の最低通常料金  
郵便に依るもの……………原信私報なるときは私報……………三錢

## ●別使料又は船料報知

指定略符號

別使料電報報知  
解船料電報報知  
別使料郵便報知  
解船料郵便報知  
ハ△  
マ△  
ハ≡  
マ≡  
BM

## ●書留郵便配達

書留郵便を以て配達するには書留配達電報としてお出しなさい  
書留郵便配達料……………書留郵便配達 ツナ PR……………七錢  
指定略符號

## ●親展電報

受信人以外に他見を憚る電報は親展電報としてお出しなさい  
指定略符號 親展 ニカ CL

## ●無緘配達

電報を封緘せずに配達するには無緘配達電報としてお出しなさい  
指定略符號 無緘配達 ナレ RO

## ●留置電報

電報を電信局所に留置き受信人の出頭を待つて交付するものは留置電報としてお出しなさい  
指定略符號 留置 △ナ TR

●外國郵送報

書留郵便に依り外國に郵送を要する歐文電報は外國郵送電報としてお出しなさい  
外國郵送料……………二十錢  
指定略符號……………外國郵送

●電報受取證書

發信人は電報を差出した日から三日以内に限り電報受取證書を請求することが出來ます  
電報受取證書料……………五錢

●電報託送

電話加入者、發受用電話施設者又は電報送受の目的を以て施設した電信施設者は豫め届出又は請認を爲し電信局所との間に電報を託送することが出來ます  
電報託送料……………三錢

電報閱覽料……………五錢

●電報閱覽正寫

電報正寫料……………五錢  
請求期間……………發信に在つては差出した日から着信に在つては受取つた日から五箇月間

●未送電報返還

未送電報返還料……………五錢

●略號登記、配達先登記、配達先登記、記、局渡證

略號登記料及配達先登記料……………各登記一件に付……………年額十二圓  
電報局渡料……………證票一個に付……………年額六圓

●票交付

但し局渡證票を亡失し更に證票を請求するときは二十錢を要します



● 尋問、改正  
及 停 止

尋問、改正  
及停止料

其の通報並返信に要する電報の字語數に應じて原信が官報なるときは官報料金私報なるときは私報料金を課します但し和文電報及諺文電報に在つては一名宛に相當する料金を附課します  
尋問料は電信事務上の誤謬に因つて尋問を爲すに至つた場合は其の料金を還附します

請求期間……………電報を受取り又は差出した時から……………七十二時間以内

# ●外國電報

●電報發信上  
御注意

●外國電報は羅馬字又は亞刺比亞數字で分り易く正しくお書き下さい但し上海宛は和文電報も取扱ひます

●外國電報は經過線路を指定してお出し下さい經過線路に依つて送達上遲速もあり又料金も違ひます

●別項に掲げた以外の地に宛てた電報料金は郵便局所に御聞き下さい

●電報料(一語料金)

地名

通常電報

上海線

新聞電報

臺厦福州上

灣門州海

〇、三〇  
円

〇、二二  
円

在上海帝國電信官署とその他の帝國電信系との間では和文電報を扱ひます其の料金は左の通りです

一、片假名七字又は其の端數毎に一語に計算し前掲料金を課します

一、名宛は字數に拘らず一語に計算します第二以下の名宛は前號に依ります

# 外國電報

三四

## ●亞細亞

- 一、電報一通の課金語數三語に満たないものでも三語分の料金を課します
- 一、上海以外の帝國郵便官署所在に發著する電報は郵便連絡に依ります
- 一、受信報知は電報に依るものは通常電報料二語分郵便に依るものは三錢
- 一、別使料及舁船料報知は電報に依るものは通常電報料二語分郵便に依るものは三錢

地名

通常電報

上海

海線

新聞電報

香港

澳門

〇、六三  
〇、七三  
〇、五〇

〇、二八  
〇、二二  
〇、二二

(上記各地及在芝罘本邦局を除く)

地名

朝鮮線

浦羅斯庫又は「キアクダ」線

香港線

通常

電

報

電

亞細亞 土耳其  
亞細亞 露西亞

〇、三三

〇、四二

二、一六

一

一、四六

一、八七



亞米洋洲

大洋洲

歐羅巴

瓜哇 呂宋 馬尼刺

其他各地

地名

布哇 其他各地

地名

英國、佛蘭西、奧地利、  
洪易利、丁抹、伊太利、  
瑞典、西班牙、白耳義、  
那威、和蘭、  
葡萄牙

一、五二

〇、九四

一、〇四

小笠原線

通常電報

新聞電報

一、六六  
一、九六

〇、六三

朝鮮線

香港線

浦鹽斯德線  
又ハニギアクタニ線

通常電報

通常電報

新聞電報

通常電報

新聞電報

一、六七

〇、五五

一、六七

〇、五五

一、六七

一、六七

〇、六二

外國電報

三六

獨逸

歐羅巴露西亞及高加索

土耳其

地名

桑港

ワシントン  
フィラデルヒヤ

市加古

ミニカポリス  
セントルイス

ボストン

紐育市

ブルークリ

●亞米利加

通常電報

新聞電報

小笠原線又は「マニラ」線

〇、二八

一、八一  
一、六七  
一、吾  
一、六七

〇、六二  
一、八一  
〇、六二

一、六七  
〇、四八

一、六七  
一、六七

一、九二

〇、六四

二、一六

〇、七六

二、一〇

〇、七三

二、一六

〇、七六

ホーランド	二、〇〇	〇、六八
シヤトル		
タコマ(ウオシントン洲)		
晚香坡	二、〇八	〇、七二
グイクトリア		
モントリール	二、二四	〇、八〇
オツタ		
メキシコ、シチー	二、四〇	一、〇七
リガ、デ、ジャネーロ	三、六八	一、七四

(伯西兒國)

特殊取扱料金 (歐文電報の略符號は内國電報と同一です)

●至急私報料 通常電報の三倍

●照校電報料 原信通常電報料の四分の一

●受信報知料 電報報知郵便報知.....五語の通常電報料金 錢

●追尾電報料 追尾毎に追尾局と次の著局との間に發著する電報の料金と同一額

●再送電報料 再送毎に再送局と次の著局との間に發著する電報の料金と同一額

●後廻電報料 通常電報料金の二分の一



外國電報

三六

●同文電報 膳寫料	百語以內	通常電報 至急電報	二 四	十 十 錢 錢
●原信を除くの外一 通に付	百一語以上百語以內毎に	通常電報に在ては 至急電報に在ては	二十 四十	錢 錢 を加へます を加へます
●電報の 郵送料	著信國內 著信國外	書留郵便 通常郵便	十 十	錢 錢
●電報膳本料	百語以內毎に	書留郵便	二十 二十	錢 錢
●電報受取 證書料	一通に付	書留郵便	五	錢
●返信料前納 證券使用期間	證券發行の翌日より	書留郵便	四十二	日
●電報料金還 付請求期間	電報依託の日より	書留郵便	五箇月以內	錢

# 電話

●電話に付て  
御注意

●ベルが鳴つたらどんなお忙しい時にも直ぐ電話へお掛け下さい  
●電話機の上に金物を載せると話が通せぬことがありますから鍵や眼鏡などを載せぬ様  
●にして下さい  
●加入者は報酬を受けて自分の電話を他人に使用させることは出来ませぬ  
●市外通話は三分時を一通話とし三通通話を超へて通話することは出来ませぬ但し他に通  
●話する者がいないときは差支ありません  
●先方が電話加入者でなくとも郵便局所に行き又は自動電話に依り通話することが出来ます  
●加入者でなくとも郵便局所に行き又は自動電話に依り通話することが出来ます

●加入登記料  
●電話使用料  
●名義書換料  
●市外發受用  
●電話料及電  
●話番號表重  
●複掲載料

種別	加入登記料				
	甲地	乙地	丙地	丁地	戊地 指定地
加入登記料	十五圓	十五圓	十圓	十圓	五圓 五圓
電話使用料	九十六圓	八十四圓	七十二圓	六十圓	五十四圓 四十八圓 三十六圓
電話額	八十四圓	七十二圓	六十圓	五十四圓	四十八圓 三十六圓
名義書換料	五圓	五圓	三圓	三圓	二圓 二圓

電話

話





●電話通話料  
及電話呼出料

電話加入者相互間の市内通話には料金は要りませぬ▲普通通話よりも早く通話したいとき又は電話取扱時間に外に於ては至急通話又は至急呼出の請求をなさい

同一加入區域又は  
同一呼出區域内……………一通話時(三分)の通話料……………五錢

至急通話至急呼出又は至急通知……………普通通話料又は普通呼出料の二倍

前記以外の主な區間に於ける市外通話區域及其の料金は別項掲載の通りです詳細は郵便局所で御聞き下さい

●自働電話に  
依る通話料

自働電話に依り市内通話及市外通話をすることが出来ます但し長距離通話又は電話呼出は出来ませぬ

同一加入區域内又は同一呼出區域内……………一通話時の通話料……………五錢

●各種料  
金納期

電話使用料、附加……………第一期……………四月一日から六月三十日迄

使用料及維持料の……………第二期……………七月一日から九月三十日迄

……………第三期……………十月一日から十二月三十一日迄

……………第四期……………一月一日から三月三十一日迄

年額分納期……………第一……………四月一日迄

……………第二……………七月一日迄

……………第三……………十月一日迄

……………第四……………一月一日迄

以上の料金は各其の初月十日迄に其の期の分を納めればなりませぬ

電話通話料……………加入者は毎月分を其の翌月二十日迄に又電話番号表重複掲載料は毎年四月十日迄に通貨を以てお納め下さい



# ●内國郵便爲替

●爲替に付て  
御注 意

●爲替振出の際萬一の詐取を豫防せられるには通常爲替は振出請求書に差出人又は受取人の商號又は適宜の暗號を附記し或は拂渡猶豫の日數をお書き下さい又小爲替は受取人宿所氏名又は拂渡局所を指定せられるがよろしいです  
●爲替は有効期間の經過せぬ内にお受取り下さい  
●爲替證書は裏面に二條の平行線を引いて銀行に讓渡することが出来ます

小 爲 替

通常爲替

電 信 爲 替

朝鮮内各局所互相間及  
朝鮮と朝鮮外(滿洲を  
含ます)

金額	爲替料	金額	爲替料	金額	爲替料	金額	爲替料
一圓迄三	錢	二十圓迄十五	錢	二十圓迄五十	錢	二十圓迄七十	錢
五圓迄五	錢	五十圓迄二十五	錢	九十圓迄七十	錢	五十圓迄一	圓
十圓迄七	錢	百圓迄三十五	錢	百圓迄九十	錢	百圓迄一圓三十	錢
十五圓迄十	錢	百五十圓迄四十五	錢	百五十圓迄一圓十	錢	百五十圓迄一圓六十	錢

●爲替の種類  
及 料 金

内國郵便爲替



内國郵便爲替

四四

備考	二十圓迄十三錢	二百圓迄五十五錢	二百圓迄	一圓三十錢	二百圓迄	一圓九十錢
	三百圓迄七十五錢	三百圓迄	二百五十圓迄	一圓五十錢	二百五十圓迄	二圓二十錢
	三百圓迄	三百圓迄	三百圓迄	一圓七十錢	三百圓迄	二圓五十錢
	三百五十圓迄	三百五十圓迄	三百五十圓迄	一圓九十錢	三百五十圓迄	二圓八十錢
	四百圓迄	四百圓迄	四百圓迄	二圓十錢	四百圓迄	三圓十錢
			四百五十圓迄	二圓三十錢	四百五十圓迄	三圓四十錢
			五百圓迄	二圓五十錢	五百圓迄	三圓七十錢

郵便取立金は之を通常爲替として  
通常爲替料を徴収します但し其の  
金額が二十圓以下であるときは小  
爲替料金の割合に依り又三百圓を  
超えるときは超過額百圓迄毎に十  
錢を加徴します

爲替證書の有効期間は證書發行の日から六十日です但し鬱陵島、千島、琉球、小笠原、伊豆  
諸島、臺灣及樺太と其の他の地との間に取組んだものは九十日です又千島及樺太と取組  
んだ通常及電信爲替は毎年十二月一日より翌年四月三十日迄は有効期間に算入しませぬ  
朝鮮内に取組む通常爲替及電信爲替は逓信局長の認可を受けて證書一枚の制限額を高め  
ることが出来ます

●高額爲替

高額通常爲替	證書一枚の金額……………制限なし
爲替料……………	一般通常爲替料の外三百圓を超える金高に對し
證書一枚の金額……………	五十圓迄を増す毎に十錢を加徴します
高額電信爲替	爲替料……………
爲替料……………	一般電信爲替料の外五百圓を超える金高に對し
	五十圓迄を増す毎に二十錢を加徴します

●爲替に關する各種取扱料金

取扱種別	料金	取扱種別	料金
通常爲替證書送達料	十錢	電信爲替至急通報料	電信爲替料に相當する金額
爲替に關する訂正通知料	郵便に依るもの	失効證書爲替金拂戻料	
爲替金拂渡通知料	三錢	爲替拂渡又は拂通常爲替	十錢
爲替金拂渡停止及解除通知料	電信に依るもの	爲替證書再度發行料	
爲替金拂渡濟否取調料	電報料相當額	爲替金居宅拂請求料	小爲替五錢
爲替電報又は電信郵便別配達料に爲替證書別配達料相當する金額			

注意

爲替金居宅拂は朝鮮内では郵便區市内宛に限り又内地、臺灣、樺太及其他ては其の宛地に依り之を扱はぬことがあります

内國郵便爲替

●外國郵便爲替

●外國爲替に  
付て御注意

●外國爲替の振出請求書の名宛人及差出人の住所氏名は略字を用ゐずに羅匈字か日本字  
(差出人が朝鮮人又は支那人ならば漢字)で分り易く詳しくお書き下さい

●外國宛の爲替券は郵便局所から名宛人に送ります尤も香港又は比律賓群島宛のものは  
差出人から送ることになつて居ります

●外國通常爲替は内國爲替を扱ふ總ての郵便局で扱ひます又外國電信爲替は(京城、仁川  
群山、木浦、釜山、平壤、新義州、元山、清津)の各郵便局に限り扱ひます

●外國爲替金は毎週公示する外國貨幣換算割合に依り日本通貨で受拂をいたします

●重なる交換國名及地名  
爲替一口  
爲替金高  
通替料  
電信爲替料

△香港、英領印度、錫蘭及  
海峽殖民地馬來聯邦  
四百弗(洋銀)  
十弗又は其の  
端數毎に十  
錢  
錢扱ひませぬ

△布哇、比律賓群島、  
(「グラム」)  
百弗(米貨)  
十弗又は其の  
端數毎に十  
錢  
錢同

△英  
國四十磅  
一磅又は其の  
端數毎に十  
錢  
通替爲替料に相當電  
報料を加へたるもの



○獨

逸三千二百麻

其六十麻又は十

錢同

○佛蘭西、伊太利、希臘

一千法

五十法又は其

錢同

△亞米利加合衆國二百弗(米貨)

十弗又は其

錢同

△加 那 太同

五弗又は其

錢同

備考 國名又は地名の頭部に○符號あるものは羅馬約定に依るもの、△符號あるものは特別約定に依るものです

●羅馬約定に依る通常爲替の別配達……………十二

●羅馬約定に依る爲替の拂渡通知料……………五

●條約に依る爲替又は英國、墨西哥若は露西亞との……………十

●條約に依る爲替又は英國、墨西哥若は露西亞との……………五

●條約に依る爲替又は英國、墨西哥若は露西亞との……………十

●外國振出本邦拂渡の羅馬約定又は特別約定に依る通常爲替……………十

●居宅拂料……………十

●外國爲替に關する各種料金

外國郵便爲替

●郵便貯金

●無事安穩の日には是非所得の一部を貯蓄なさい貯金は身の爲國の爲誠に誰にも出来る御奉公は此貯金であります

●貯金に付て御注意

●貯金通帳は朝鮮内に限らず内地、臺灣、樺太、關東廳管内及在支那帝國郵便局所在地の何れの郵便局所にても通用いたします

●貯金一度の預入額は十錢以上一人の預入總額は二千圓迄であります但し共同貯金、公共團體、社寺、學校などの預入金に對しては最高額の制限はありません

貯金の預入方に付ては左の便法があります

●郵便切手貯金

五厘、一錢、一錢五厘、二錢、三錢の切手の内同一種類のものを切手貯金臺紙に貼付し臺紙の全欄に満ちた上郵便局所に持行き預入する方法で學童其の他の小額貯金に最も適當の方法であります但し一人一箇月一圓限りです

●證券及利札の預入

無記名のもので支拂を開始した各府縣市債券、勸業債券、貯蓄債券及其等の利札は其の儘貯金に預入が出来ます

●吏員出張取扱貯金

官衙、學校、工場其の他多人數同時に貯金をせられるときは豫め其の旨を最寄の郵便局所へ申出になれば郵便局所の吏員が出張して貯金の取扱をいたします

●集配人取集貯金

郵便區市外地に於て豫め定めた面事務所、學校、寺院、郵便切手賣捌所等の場所て郵便集配人が郵便物集配の傍ら貯金の取集をいたします

●規約貯金

多人數が申合せ漫りに拂戻をしないことを約束して貯金の預入を爲し預け人から拂戻の請求があつても規約に定めた約束に従ひ拂戻承認を得たものでなくては拂戻を爲さぬものであります

●据置貯金

一定の年限内拂戻を爲さぬ條件を以て貯金の預入を爲すもので据置年限は其の請求の日から三箇年乃至十箇年内（一箇年未満の端數は附けられませぬ）で預け人が之を定めゐるものです

●共同貯金

一人の總代人を設けて其の名義で銘々預け金を爲る方法で總代人と共同者とか遠隔の土地に在る時に便利であります

貯金の拂戻は左の方法に依ります尙貯金の一部拂は五十錢（朝鮮人名義のものは十錢）以上残して置かればなまりせぬ

●即時拂

預け人は通帳に預金の記入をした郵便局所に其の預金の即時拂を請求することが出來ます又豫め郵便爲替貯金管理所で現在高の證明を受けて置けば其の貯金現在高に付ては何れの郵便局所でも即時拂の請求をすることが出來ます



# 郵便貯金

五〇

前項に該當しない場合で預け人の方で正當本人であることを證明したときは郵便局所では一日三十圓以内同一月内百圓迄を限つて即時拂の請求に應ずることがあります

## ● 通常 拂

貯金の拂戻を受けるには郵便局所でお渡しする用紙で拂戻請求書を調製し貯金原簿所管廳又は郵便局所にお出し下さい又全部の拂戻を受けるには拂戻請求書に通帳を添へて郵便局所にお出し下さい

## ● 局 待 拂

拂戻金額に制限なく又豫め現在高の證明を受けなくても郵便爲替貯金管理所所管に屬する貯金を即時に拂戻し得る方法で今は光化門郵便局に限り之を取扱ひます

## ● 非 常 拂

天災其の他非常の場合に際して其の災害地の郵便局所に於て特別の取扱を爲すもので拂戻金額及取扱時間に制限なく又通帳印判等を亡失した者に對しては無料電報で郵便爲替貯金管理所、貯金局、同支局等に照會した上即時現金の拂戻を致します

## ● 貯 金 利 子

利子は貯金預入の翌月から拂戻の前月迄之を附け毎年三月三十一日を區切り元金に加へます但し其の十錢未満の端數に對しては利子を附けませぬ 一箇年……………五分四毛

年 別		度 別	
次	毎 月 預 け 入 れ る と き	十 圓 預 け て 置 け ば	五 十 圓 預 け て 置 け ば
	毎 日 一 錢 又 は 毎 月 三 十 錢 宛 預 け る と		
次	毎 日 五 錢 又 は 毎 月 一 圓 五 十 錢 宛 預 け る と	毎 日 十 錢 又 は 毎 月 三 圓 宛 預 け る と	百 圓 預 け て 置 け ば
	毎 日 十 錢 又 は 毎 月 三 圓 宛 預 け る と		

一度預けた元金を其の儘据置くとき

●貯金  
算利子  
表

初年目	三、六八〇 <sup>円</sup>	一八、四一〇 <sup>円</sup>	三六、八三〇 <sup>円</sup>	一〇、四六〇 <sup>円</sup>	五二、三二〇 <sup>円</sup>	一〇四、六二〇 <sup>円</sup>
五年目	二〇、三三〇	一〇一、八〇〇	二〇三、六五〇	一二、七二〇	六三、六七〇	一二七、三四〇
十年目	四六、三三〇	二二一、九八〇	四六四、〇五〇	一六、二五〇	八一、三九〇	一六二、八二〇
十五年目	七九、五六〇	三九八、四五〇	七九七、〇三〇	二〇、七六〇	一〇四、〇五〇	二〇八、二〇〇
二十年目	一一三、〇四〇	六二一、三二〇	一、二二二、八二〇	二六、五四〇	一三三、〇四〇	二六六、二二〇
廿五年目	一七六、三八〇	八八三、五〇〇	一、七六七、二九〇	三三、九一〇	一七〇、一〇〇	三三〇、〇〇〇
三十年目	二四五、八六〇	一、二三一、五五〇	二、四六三、五〇〇	四三、三五〇	二二七、四九〇	四三五、二五〇

●拂戻證書有効期間

.....六十日

●亡失毀損汚損通帳の再度通帳手数料

.....十銭

●有効期間經過又は亡失毀損汚損拂戻證書の再度證書手数料

.....五銭





## ●振替貯金

### ●振替貯金に 付て御注意

●振替貯金は口座所管廳（朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所、貯金局及同支局、臺灣總督府逓信局、關東廳逓信局等）に元帳を備へ置き帳簿の上で預け金の受拂をする安全第一の便法で小金の送受によるしく大金の送受に尙更調法であります

●振替貯金の拂出證書は有効期間の經過せぬ内にお受取さい

●振替貯金拂出證書は裏面に二條の平行線を引いて銀行へ譲渡することが出来ます

### ●振替貯金口 座加入手續

加入請求書に基本預金十圓を添へ（官公署又は公認せられた團體若は組合が加入する場合は基本預金を要しませぬ）且別名の登記を受けやうとするもの又は用紙の賣渡を受けやうとするものは其の料金又は代金に相當する郵便切手を貼付し最寄郵便局所に差出し其の受領證をお受取り下さい其の内口座所管廳で口座を設けたときは其の口座番號を加入者に通知します

振替貯金の拂込を爲されるには拂込書用紙に所要の事項を記入し現金を添へて郵便局所にお出しなさい

### ●振替貯金 拂込手續

郵便爲替證書（取立金に對する通常爲替證書ならば爲替料に相當する郵便切手の貼付を要します）振替貯金拂出證書、中央金庫に於て拂渡すべき仕拂命令券は現金と同様拂込が出来ます

## 振替貯金

五四

拂込書用紙は郵便局所で御渡いたします但し私製のものを御用ゐることも出来ます  
拂込書裏面の相當欄には通信文を書くことが出来ます

## 振替貯金 拂出手續

振替貯金の拂出を爲されるには拂出書用紙に所要の事項を記入し豫て届出である印章を  
明瞭に捺し口座所管廳へ無料郵便でお出しなさい拂出には自己の口座から相手加入者の  
口座に振替拂込を爲し又は自己又は他人へ現金拂渡を爲すなどいろいろの場合がありま  
す又局待拂の方法もあります詳細は郵便局所で御聞き下さい  
拂出用紙は口座所管廳で其の口座加入者へ賣渡します  
拂出書裏面の相當欄には通信文を書くことが出来ます

## 集金振替 貯金

加入者が口座所管廳で發賣する集金書用紙を以て現金受領證書等を作成し其の集金方を  
郵便局所に委託し取立郵便局所で其の取立金を直に當該加入者の口座に拂込を爲すもの  
です

## 代金引換郵便物の引換 代金拂込

代金引換郵便物の委託者である加入者が引換代金の拂込方を請求せられるときは其の代  
金は引換郵便局所で直に當該加入者の口座に對し之が拂込の手續をいたします

拂込……………一口に付……………金十錢以上、最高額の制限なし  
拂出……………拂出證書及局待拂出書一枚に付……………金千圓以内





振替貯金

振替貯金に  
關する各種  
料金

現金拂出料		現金振替委託料		局待拂電報料	
銀行業者から朝鮮銀行當座勘定口へ振替の爲にする現金拂出料	料金 五錢 十錢 十五錢 二十錢 二十五錢 三十錢 三十五錢 四十錢 四十五錢 五十錢 五十五錢	金高 迄 五圓 十圓 五十圓 一百圓 二百圓 三百圓 四百圓 五百圓 六百圓 八百圓 千圓 以上千圓迄を増す毎に	現金受領證書に依るもの 六錢	同時に二口以上請求するときは内一口は六十錢其の他は一口に付十錢	六十錢
加入者が豫め口座所管廳の承認を受けた郵便局所で自己の口座から拂出した現金を受領するとき及口座脱退の場合に於ける拂出は證書一枚に付五十圓迄五錢五十圓を超えるときは十錢を徴收します	銀行業者から朝鮮銀行當座勘定口へ振替の爲にする現金拂出料	金高 迄 五圓 十圓 五十圓 一百圓 二百圓 三百圓 四百圓 五百圓 六百圓 八百圓 千圓 以上千圓迄を増す毎に	現金受領證書に依るもの 六錢	同時に二口以上請求するときは内一口は六十錢其の他は一口に付十錢	六十錢
郵便に依るもの 八錢	電報に依るもの 六十錢	集金拂込取消請求料 六十錢	集金振替委託料 十五錢	同時に二口以上請求するときは内一口は六十錢其の他は一口に付十錢	四十錢

●振替貯金用  
紙價格

振替貯金

拂込又は振替取消通報料 拂渡停止又は解除通報料 拂出取消通報料	郵便に依るもの 電報に依るもの 四十錢	拂渡局所變更請求料 失効拂出證書の 再度發行料 十錢
居宅拂料	十錢	加入者別名登記料 振替貯金讓渡料 一圓半錢

備考 國庫金受拂の爲にする口座に對しては（イ）（ロ）（ハ）の料金を徴收しませぬ又代金引換郵便物に對する代金の拂込及集金振替貯金の拂込に付ては（イ）の料金を徴收いたします

拂込書用紙	……………	一冊(五十枚綴)	……………十五錢
普通拂出書用紙	……………	一冊(五十枚綴)	……………二十錢
局待拂出書用紙	……………	……………	……………

（注意） 拂込書及集金書は口座所管廳發行のものと同様な私製の用紙を使用することが出来ます

振替貯金

五八

●脱退手續

適宜の用紙に依り脱退請求書を作つて之を口座所管廳に送付すると所管廳では其の口座の貯金を清算し基本預金及貯金残額を請求人に拂戻します尤も脱退者が自己の加入してゐる他の口座又は他の加入者の口座へ振替を請求したときは當該口座へ振替計理をいたします



## ●年金恩給

●年金恩給に  
付て御注意

- 國庫支辨の年金、恩給、遺族扶助料及退職料の支給事務は總ての郵便局所で扱ひます
- 始めて給與金の支給を受けやうとするときは郵便局所で交付する用紙に依り印鑑届を作り支給を受けやうとする郵便局所にお出し下さい
- 給與金を受取るには年金恩給證書を示して正當權利者であることを證明した上郵便局所で交付する用紙に依り給與金受領證書を作り支給郵便局所にお出し下さい
- 受給者は豫め年金恩給證書を貯金局に寄託し其の給與金を支給期毎に自己の郵便貯金に振替預入させることが出来ます
- 受給者が支給郵便局所を變更せうとするときは變更請求書を新舊何れかの支給局所にお出し下さい
- 受給者は左の場合には直に支給郵便局所に届出で下さい
  - (イ)改印したとき
  - (ロ)身分に異動あつたとき
  - (ハ)住所を變更したとき
  - (ニ)年金恩給證書を亡失したとき

年金恩給

六〇

●文官恩給及其の遺族扶助料（元官吏恩給令及同附則に依るものを除く）

●軍人恩給及其の遺族扶助料並廢兵親族扶助料

●學校職員退隱料及其の遺族扶助料

朝鮮に於ける學校職員にして國庫より俸給を受けざる文官判任以上の者遺族扶助料を除く

●巡查看守退隱料及其の遺族扶助料

●特別年金

●元陸軍罷役俸並恤金令に依る罷役恤金

●勳章年金

●外國人恩給

●元官吏恩給令及官吏恩給令附則に依る恩給及扶助料

●朝鮮に於ける學校職員にして國庫より俸給の支給を受けざる文官判任以上の者遺族扶助料

各當該支給期月の十一日より二十日迄

（注意）一時限の給與金に付ては支給期月及期日に拘はらず之を支給します

支給期月

毎年度

四月、七月、

十月、一月

毎年度 六月、九月、十二月、三月

毎年度 六月、十二月

毎年度 五月、八月、十一月、二月

支給期日

大正十年三月一日 現行印刷

大正十年三月五日 發行

朝鮮總督府遞信局

京城府明治町二丁目五十四番地

印刷所 朝鮮印刷株式會社



# 通信の稟正誤表

頁	行	數	誤	正
一六	支那と交換する小包ノ部	六寸五分をに過差支ありませぬ	六寸五分を超過差支ありませぬ	
三三	六	郵便局所	郵便局所	
三六	六	週常電報	週常電報	
四三	電信爲替ノ部	朝鮮内各局所互相間及	朝鮮内各局所相互間及	
四七	一	二千二百麻	三千二百麻	
四九	一一	以上して置かれば	以上残して置かれば	
五二	末行	證券一板付	證券一枚に付	
五三	五	お受取さい	お受取下さい	

樺

太

